

群馬県立渋川青翠高等学校 学校評価一覧表 (令和5年度版)

(別紙様式)

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価					
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等				総合				
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動(授業等)を行っていますか。	① 総合学科高校として特色あるキャリア教育活動に満足している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次では系列や科目のガイダンスを充実させ、興味関心や進路希望との齟齬をきたさないよう二者面談や三者面談等でしっかりと確認する。また、キャンパス見学やインターンシップを実施し、事前・事後学習にも積極的に取り組ませ、自らの将来を考えさせる。 ・2年次では、「自己探究セミナー」を通して自らを客観視し掘り下げさせるとともに、1年次に選択した系列ごとの学習の充実も図ることで、主体的に進路選択を考えられるように働きかける。 ・3年次では、できるだけ早くから二者面談等を行い、進路目標達成に向けての具体的な取り組みができるような準備をさせる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・系列・科目ガイダンスを充実させるとともに二者面談・三者面談により、多くの生徒が納得した選択を行うことができた。キャンパス見学やインターンシップ、福祉交流や外部講師による進路講話も各学年で実施でき、自身の進路について考える機会を持たせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合研究の集大成である、学習成果発表会は年々内容が良くなっている。総合学科の特色である。今後、研究内容をより深め、地域との連携を図りながら、地域に貢献できる教育活動をしていってほしい。 ・学校の様々な行事が通常通りになって良かった。学習成果発表会の発表生徒だけでなく、参加している1・2年生の姿勢も素晴らしい。 					
		② 学校の諸活動に意欲的に取り組んでいると感じている生徒が80%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や体育祭等の学校行事を通して、学校への帰属意識を高める。入学式や体験学習会などの学校行事で生徒に係務をさせたり、発表の機会を設けるなど、生徒に積極的に学校行事に関わらせる。 	B	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの5類移行により学校生活が以前の状況に戻ってきた。球技大会や体育祭等で積極的に競技に取り組む姿が見られた。体験学習会等では発表の機会を設け、また係業務にも積極的に取り組んでいた。引き続き、生徒の活躍の機会を設ける。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	④ 学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に国語、英語、数学を中心に少人数・習熟度別授業を実施し、基礎・基本の定着を図る。 ・ICT機器を効果的に活用し、誰にとっても分かりやすい授業展開を実施する。 	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業改善を引き続き実施した。 ・学級閉鎖等の際のオンライン授業の体制を整えた。学級閉鎖の際には、オンラインで授業を実施し、授業の遅れを最小限に抑えることができた。 ・知る喜び、分ける喜びを感じられるような授業の工夫を追究していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習成果発表会の取り組みを見ていると、意欲的に学習に取り組んでいる様子が見える。産業社会と人間、自己探究セミナー、総合研究の取り組みが良い意味で、他の授業に影響を与えられるよう指導を続けてほしい。 					
		⑤ 目的意識を持って資格取得に取り組んでいる生徒が80%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部や総合学科推進部と連携し、キャリア教育と結びつけながら資格取得の意識を高める。 ・各教科と連携し、受検希望者に対して放課後補習を実施するなど計画的に指導する。 	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・系列の専門科目を中心に、さまざまな資格取得に取り組む生徒が多くみられた。 ・今後、国語、数学、英語等の検定にも積極的に挑戦させ、基礎的な学力の定着を図りたい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1〜2回程度行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、職員会議や分掌・係・学年などの会議をして、些細なことでも生徒に関する情報交換をすることで、全職員の共通理解を図る。 	A	-	A	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、運営委員会、学年会議、各分掌会議と生徒の状況を把握する機会があり、定期・不定期の情報交換がされている。また、議事録を管理職に必ず提出して、教職員全体で情報共有できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な家庭環境を背景にした生徒がいるなかで、難しい部分もあるが、部活動の活性化を図ってほしい。 					
		⑦ 部活動等への加入率が70%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・部活動紹介や部活動見学の際に、部活動をする意義を伝えると共に、魅力ある活動を通して加入率を高める。 	B	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策の影響で、無理をせず休んだ方がよいという風潮はあるが、遅刻者数の減少についても引き続き取り組んでほしい。
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的にを行っていますか。	⑧ いじめの解消率が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ防止基本方針、学校いじめ防止プログラム、学校いじめ対応マニュアルを生徒、保護者に周知し、未然防止、早期発見、早期対応を徹底して、いじめの根絶を図りたい。 	A	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のいじめ認知件数は6件であった。いずれも「いじめの疑い」の段階や、早期の対応により、大きなトラブルにならずに、解消及び解消に向かっていく。教職員に対しては、12月までに8回、短時間の「いじめ問題に関する職員研修」を実施して、いじめ問題に対する正しい認識の徹底を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装頭髪等のルールについては、生徒も含め話し合いを重ねながら、時代に合ったものにかえていってほしい。 					
		⑨ 基本的な生活習慣を身に付け、服装頭髪など身だしなみがしっかりしている生徒が90%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立、挨拶や身だしなみについて生徒の意識を向上させるように、生徒指導通信を月1回発行して、全職員が共通理解のもと指導する。 	C	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年5回の定期試験最終日などを利用して、定期的・組織的に服装・頭髪指導を行っている。身だしなみ指導については、教職員が同一歩調で、生徒へ公平な指導ができるように、身だしなみ指導(チェック指導)体制の再構築の検討を実施したい。
	6 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩ 家庭と連携を図ることで、生徒の遅刻者数は、1日平均1%以内である。	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻が続く生徒に対しては、担任から家庭に連絡を入れることを徹底して、遅刻から欠席につながることをないように、早期対応をする。 	C	A	C	<ul style="list-style-type: none"> ・長期欠席の生徒を抱えていることも要因の一つと思われるが、規則正しい生活を送ることの大切さを理解させ、時間に対する認識の甘さや、気の緩みなどがないように指導していきたい。来年度も、家庭及び外部機関との連携を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生で実施している大学・企業見学は大変良い取り組みである。今後も現場の声を聞く機会を積極的に設けてほしい。 					
									⑪ 「自己の生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる活動を実施し、進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事やテストを実施後、自己に対する理解と課題を発見させ、成長を促す。 ・総合的な探究の時間とLHRを効率的に組合せ、3年間を見通した一貫性のあるキャリア教育を実施する。その際に「高校卒業時の進路」を「その後の自己の生き方」につなげるための考察の機会を各学年に必ず設ける。 	A	A	A
7 計画的な指導を行っていますか。	⑫ 生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・三者面談で、進路希望について必ず確認する。 ・進路希望調査実施前に家庭で保護者と進路について相談させる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の進路志望の理解について、生徒が93%に対し保護者が86%と生徒と保護者の理解について差がある。この差が少なくなるよう、今後も三者面談で確実に確認ができるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりを今後も活用していただきたい。 						
								⑬ 進路だよりを定期的(年間12回)に発行している。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路だよりを毎月発行し、本校卒業生の進路状況や学習状況、入試の動向や求人状況など、進路関連情報を提供する。 ・発行の際は一斉メールで保護者に連絡し、WEBページにアップする。 ・生徒の進路希望別に随時集会を設け、情報の提供を行う。 	A	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発行することはできたが、外部アンケートでの評価が低かったため、分掌内での役割分担を明確にし、発信する情報をより深いものにしていく。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 適切な進路情報を提供していますか。	⑭ 定例会議を月1回以上開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・悩み等を抱えている生徒の職員間での情報共有とそれに伴う迅速な初動対応ができるように、解決に向けてチームで協働する。特に、学年会議での生徒情報を定期的(会議形式、回覧形式)に係で共有する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、定例会議を実施し、生徒の情報交換や教育相談に関する業務等を共有した。実施が難しい時は、学年会議での生徒情報を回覧し情報共有を図った。次年度は、可能な限り定例会議を時間割に組み、チームとして協働する体制を強化したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転退学者の減少について課題となっている。教育相談、スクールカウンセラー等と連携し、引き続きチームで取り組んでいただきたい。 					
		⑮ 教育相談通信・スクールカウンセラー通信を月に1回発行する。							<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者のニーズにあった内容のSC通信並びに教育相談通信を発行する。また、係職員が輪番制で作成することにより、内容の幅を広げ、効果的な情報発信を行う。 	A	C	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発行することはできたが、外部アンケートでの評価が低かったため、生徒や保護者のニーズにあった内容の掲載を心がけ、情報を提供できるようにしていく。
		⑯ 転退学者数を前年度より減少させる。							<ul style="list-style-type: none"> ・早めの情報集約と適切な相談業務に当たる。Gライフログや学校生活アンケートの活用により、気になる生徒の早期発見に役立てる。また、必要な場合は外部機関との連携を図る。 	C	-	C	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてSCとの連携を図ったり、係職員での面談を実施した。今後は、係職員と担任の連携を強化し、早めに情報集約できるよう努める。また、全職員で情報を共有し、適切な相談業務に当たる。
V 日常的な相談活動が充実していますか。	9 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑰ 学校の教育活動を地域及び関係機関の方々に理解してもらうために「学校公開」を年3回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開や体験学習会など、多くの方に興味を持っていただけるよう、内容を工夫する。 ・学校の教育活動を伝えるために学校通信を発行する。 ・Webページの内容を充実させる。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの授業参観を実施した。また、体験学習会等で生徒の発表機会を設け、係業務を担当させるなど、生徒の活動を多くの方に見ていただくことができた。 ・各分掌の通信、教務部の学校通信を定期的に発行し、Webページに掲載することで、学校の教育活動を発信することができた。今後も継続したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のまつりやイベントに積極的に参加していただき大変ありがたい。引き続きご協力をお願いしたい。 ・家庭クラブや総合研究等の取り組みを通して地域との連携を推進してほしい。 					
		⑱ PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が80%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会、PTA諸会議、マナーアップ運動、PTA研修会などのPTA活動をより参加しやすいよう改善を図り、各学校行事に家庭や地域社会が積極的に関わられるよう、魅力的な内容となるよう改善を進める。 ・PTA新聞を通じて本校の諸活動や生徒の様子を広く家庭や地域に伝える。また、Webページやオクレンジャーを効果的に活用し、広報活動や連絡を徹底する。 	B	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会や学年部会、PTA研修会等も役員中心に滞りなく行うことができた。また、研修広報部会も全ての役員の皆様に参加していただくようオンライン形式での開催を試みた。今後はマナーアップ等の参加していただく行事もあるが、WebページやGoogleフォームなどを活用し、負担軽減を図りつつ学校への協力や理解が得られるよう努めたい。また、PTA専用のWebページを作成したので、より一層活用して情報発信をしていきたい。
VI 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 保護者や地域社会の人を講師とした講演会などを年3回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・各系列の学習内容や生徒の興味、関心(特に進路)に合わせてテーマを選び、講演会を実施する。 	A	-	A	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA研修会では、県内大学や元PTA会長を講師とした分野別進路講演会や創立記念式典講演会を対面で実施することができた。今後も実態に即した講師の選定や企画を考察したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のWebも見やすくなり、様々な情報が掲載されていてすばらしい。 					
		⑳ ICTを活用した授業に満足している生徒が80%以上である。							<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を効果的に用いるとともに、Googleクラスルームの活用を推進する。また、オンライン授業の体制を整える。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトやスライドを活用するとともに、Googleクラスルームを活用した情報発信を推進できた。より効果的にICTを活用するために研修会を実施し職員のスキルアップを図る。
VII 教育デジタル化に努めていますか。	12 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉑ オンラインによるアンケートを3回以上実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート、授業アンケート、学校行事の振り返り等、オンラインで実施する。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖等の際にはオンライン授業を実施した。 ・各種アンケートでGoogleフォームを活用した。 ・総合研究のアンケートにもGoogleフォームを利用する生徒が増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用して卒業生や企業との講演会を実施する等、外部との連携もできる。 					
		13 ICTを活用した業務改善を行っていますか。							<ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖等の際にはオンライン授業を実施した。 ・各種アンケートでGoogleフォームを活用した。 ・総合研究のアンケートにもGoogleフォームを利用する生徒が増加した。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学級閉鎖等の際にはオンライン授業を実施した。 ・各種アンケートでGoogleフォームを活用した。 ・総合研究のアンケートにもGoogleフォームを利用する生徒が増加した。